

作成日 2022 年 8 月 24 日  
(最終更新日 20 年 月 日)

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号： 2022-1-736

課題名：病理レポート及び放射線レポートのデータ構造化システム開発と有用性の検討

### 1. 研究の対象

2019 年 4 月以降にがんの病理検査、もしくは CT・MRI などの画像検査を受けられた方

### 2. 研究期間

2022 年 11 月 (倫理委員会承認後) ~ 2023 年 3 月

### 3. 研究目的

病理レポート及び放射線レポートを収集し、レポートの所見や診断に記載された文章に対し自然言語処理を行うシステムを開発し、その精度や有用性を検証することを目的とします。

### 4. 研究方法

TXP Medical 社は、病理・放射線レポートのサンプルやがん取扱い規約を基に医療用語辞書・ステージング、組織型のマスターデータを作成①、同時に自然言語処理を実行するパターンマッチングプログラムを開発します。収集した病理・放射線レポートにマスターデータ値①を手動入力し作成した教師データを基に、アルゴリズムが出力した結果の一致性を判定し精度向上を行います。

### 5. 研究に用いる試料・情報の種類

画像診断レポート、病理検査レポートを研究に用います。画像診断報告書、病理検査報告書は、それぞれ東北大学病院の放射線診断専門医、病理専門医が専門的知識に基づいて適切に記述したものです。その報告書のうち、氏名や ID、検査日などの個人につながる情報をすべて削除した、テキストデータのみを用います。

### 6. 外部への試料・情報の提供

本研究で取り扱う病理・放射線レポート (個人情報すべて削除、およびレポートを加工したデータは、TXP Medical 株式会社及び IQVIA ソリューションズジャパン株式会社のセキュリティ管理されたクラウド上のファイルサーバでそれぞれ保管、管理します。

## 7. 研究組織

(代表研究機関)

TXP Medical 株式会社 代表者 : 後藤匡啓  
公式ホームページ : <https://txpmedical.jp/>

(共同研究機関)

昭和大学(昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学江東豊洲病院)

研究責任者: 昭和大学医学部 衛生学公衆衛生学講座 諸星 北人

(研究協力機関)

IQVIA ソリューションズジャパン株式会社 代表者 : 池田信一郎  
公式ホームページ : <https://www.iqvia.com/ja-jp/locations/japan>  
株式会社データック 代表者: 二宮 英樹 代表取締役

## 8. 利益相反(企業等との利害関係)について

本研究は、TXP Medical 株式会社为主体とし、IQVIA ソリューションズジャパン株式会社の協力・資金提供を得て実施されます。TXP Medical 株式会社は自然言語処理技術の開発、および自然言語処理を組み込んだ製品を提供する医療 IT 企業です。IQVIA ソリューションズジャパン株式会社は、メディカル業界のマーケットリサーチやコンサルティングを行う会社で、医療データの利活用の基盤整備を行っています。

TXP Medical 株式会社と IQVIA ソリューションズジャパン株式会社に所属する研究者はそれぞれ雇用契約を締結しています。学会発表、論文報告の際には必ず利益相反に関して開示することとし、また必要に応じて、その都度利益相反の開示を行います。

## 9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究責任者:

東北大学病院放射線部 准教授 大田英揮

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 TEL 022-717-7312

研究代表者：

TXP Medical 株式会社 最高科学責任者 後藤匡啓

#### ◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「9. お問い合わせ先」

#### ※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第20の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

#### ◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

#### ※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第20の2(1)＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合